

令和8年2月12日

桑折町議会議長 原 賢 志 様

桑折町議会議員

11番 川名 静子



一 般 質 問 通 告 書

桑折町議会会議規則第61条第2項により次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1, 義務教育学校開設までの期間にできる子供を第一に考える教育のあり方に関して	<p>児童生徒数の減少から5年後を目途に義務教育学校を開校する町方針が出された。理由として令和11年から3つの小学校が複式学級になることを上げられた。現在 複式学級に通う子供たちは同じ人数のまま変わらず小学校の卒業を迎えることになります。今そのような環境いる子供たちを第一に考えることが可及的速やかに対応すべき事ではないかと考え、経過と対応について伺う。</p> <p>(1) 「学校教育法施行規則」には標準学級数を小中共12学級以上18学級以下と定めてあるが、人口減少の現状に合った改正がなされてきたのか</p> <p>(2) 教育委員会は平成22年に小学校統合の方針を議決され、会としてその後方針をどのように進めてきたのか</p> <p>(3) 教育の最終目的は「人格の形成」であると思う。日々の行動、経験等他人との関わりが少ない少数校の子供たちに対して、足りない行動や経験をどのように補っていく考えか</p> <p>(4) 教育委員会から出された学級編成の見通しの中からみても、先に睦合小と伊達崎小を5年後の開校を待たず統合させることはできないのか</p>	教育長

様式4 一般質問通告(会議規則第61条、運用基準84)

<p>2, 本町の子育て支援策は十分か、今、望まれる本当に必要な支援とは何か</p>	<p>「子育てするなら桑折町」と町の施策が先進事例として高く評価されてきた。しかし、こおり広報1月号の出生数がゼロ。国も子育て世帯に対して様々な手当や支援を十分とは言えないが出している。町内の出生数推移をみても平成30年頃から減少している。本町の支援策について見直しが必要な時期と考え次の点を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 近年の出生数をどのように捉え危機感はあるか (2) これまでの町の支援の効果をどう捉えているか また、新たな支援策の考えはあるか (3) 産後ケアは充実した対応がなされているか (4) 0歳児の子育て世代、特に移住し出産された方たち等と産後クライシス状況を回避するためにも担当職員との交流会議が必要ではないか。 近い将来「子育て応援の町」宣言が言える町を目指して 	町長
<p>3, 使いたいときに使えないトイレの役割って何?</p>	<p>トイレは文化のバロメーターとも言われている。本町を訪れ散策される方たちにとっても、必要不可欠な場所でもある。町公共施設等総合管理計画の基本方針その他の施設の中で「陣屋の杜公園トイレ」と「桃の郷トイレ」が管理されている。この2つ以外、消防屯所のトイレも含めたあり方について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 本町のトイレの位置づけは公共トイレなのか、公衆トイレなのか (2) 消防屯所のトイレは公共か・公衆か。また、衛生管理、管理費用は誰が負担しているのか (3) 数年前から冬場は凍結するとの理由から閉鎖され苦情が出ているトイレがある。諏訪神社、榴ヶ岡公園である。特に諏訪神社は年末年始の行事に町民が多く集まる場所でもある。何年たっても改善が図られない。町の考えを伺う。 	町長